

< 5 大変良い 4 良い 3 普通 2 不十分 1 悪い >

No	項目	評価	評価の補足・反省・今後に向けて等（記述）
1	日頃より、本園の教育目標を唱え、意識を持って、教育活動に取り組めたか。	5 4 3 2 1 数字（ 3.35 ）	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、声に出して唱える事は、出来なかったが、常に教育目標を意識し、おとだちの育ちと向き合っている。『朝礼』がなくなり、声に出して唱える機会が少なくなった。 ・教室に、掲示し『教育目標』を目で見ると意識がはし合っている。担任あたり同士の学年やクラスの目標を話し合った視点からの助言や先輩先生方からの指導を頂き、自分だけでなく、色々な方のお力添えを頂き、園児へより良い指導が出来たと思います。 ・教育目標を意識して、クラス目標を掲げ、日々の取り組みで実践した。その成果がクラスの園児の成長に繋がっていると感じる。 ・コロナ禍で、朝礼等集まる回数が減り、あまり唱える事が出来なかった。休園期間を有効活用し、目に見える場所に掲示する事で、教育目標を再度確認し、意識出来た。 ・教師自らが手本になれる様に、挨拶を行いマスク越しでも相手に伝わる声や表現を意識した。 ・私自身、教育目標を完全に把握しきることが出来ずにいた部分もあった。 ・掲示の『教育目標』を見る事で意識はしていましたが、取り組みにまでは至りませんでした。
2	年間の教育計画に従い、実践・反省・新しい計画に繋がれたか。	5 4 3 2 1 数字（ 3.27 ）	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画を元に、目の前にいるおともだちの育ちと向き合い、今どきの関わりが適切かを見極めて、進めていく様にし、学期ごとの振り返りを通して、反省点を次の学期に繋げられる様に進めてきました。 ・教育計画、月案を意図しながら日常の保育を行った。時には内容を変えたりもあつたが、当初の計画に外れない様、臨機応変に対応する事もあつた。 ・今年度からスタートしたクラスの為、年少組の年間教育計画を元に計画を立て、実践してきた。（満3歳児クラス）

		<ul style="list-style-type: none"> 副担としで年少組担任、未就児クラス担当とその都度、反 省会、話し合いをし、あそびの場を確保し、安全で楽しく過ごせる環境を創出し、保育の質を向上させる。 少時は、日々の保育活動を通じて、子どもたちの成長を支援し、保育の質を向上させる。 行事や行事日な感染症の都度、最善の対策を講じ、子どもたちの健康と安全を確保する。 に行き加え、その都度、最善の対策を講じ、子どもたちの健康と安全を確保する。 に、同じ反省を練画したの が、その通りか な場合、そのままにせず、原因や理由をしっかりと整 理、反省を行って次に繋げられた。 ナ禍の中、計画の変更を余儀なく行わな ければならない事があり、指導が行き届かない所があ り、反省点です。 今年度は新型コロナウイルスの影響が大きく、本園 の取り組みが難しく、先生方も行事や取り組みもあ り、引き続き、感染対策を講じ、教育計画を立て、進 めて行く事が出来ました。 年間で段階を経て、声掛けを行っていく事が出来ました。 今年度はコロナの影響で今までの行い方とは異なり混乱等 はありますが、次に繋がる取り組みが出来たかと思いま す。
3	園児及び保護者との信頼を深め、園児の指導・課題克服に取り組めたか。	<p>5 4 3 2 1</p> <p>数字 (3.79)</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で中々保育を見て頂く機会が少なかった分、便りやブログ、会話等で園の様子や取り組みについて、理解頂 ける一人ひとりの別課題を、取りあげながら、園児の指導にあた った。又、個別家庭と連携が出来る様に意識をした。 クラス園児からの「幼稚園大好き。」「幼稚園楽しい。」 「先生、大好き。」の言葉がそのものだと感じている。 園児に、対して、保護者に対しても耳の痛い事もその都度、 伝える様に心掛けた。こちらが真剣に向き合っているとい う姿を見せる事で、園児、保護者にも理解して頂く事が出 来たと思う。お迎えの際に、必ず、その日出来た事を伝 える様に心掛けた。 バス通園家庭には、毎日というのは難しいが、電話連絡を心 掛けた。もう少し、こまめにすべきだった。

			<ul style="list-style-type: none"> ・成長を感じる事、課題を具体的に伝えた。 ・園でだけ、家庭だけではなく、一緒に取り組んで行ける様、伝えられた。 ・成長を感じた所、良い所は積極的に伝えられる様に、努力したがる、園での個々の課題が見られた際に、それを上手く伝える事が出来なかつた。又、学年や職員、同士で情報共有し、自分のクラス以外のおともだちの様子を把握する事が出来た。 ・園児だけでなく、保護者の方に寄り添い、児の課題をお伝えする際に、受け入れて頂き易い様に、心掛けました。こちらの方の思いを一方的にお伝えするのではなく、保護者の方から児の悩みやお子様の困り感を上手く引き出せる様にしました。まずは、『聞く』事に徹すると、保護者の方から悩みを打ち明け、下さる様になりました。 ・引き渡しの際に園児の様子を伝え、家庭での様子等の情報をお互いに交換できた。 ・園児に対して行っていく指導、声掛けの内容を保護者に伝え、その後どうしていくかを、園と家庭で考えていく事ができた。結果として効果が出たものもあった。 ・バス送迎での安全運転の信頼。 ・園バスの運行中、バス停での保護者とのコミュニケーションに信頼を深められたと思います。 ・挨拶や少しの変化などお会いしたら積極的に伝え出来る様に心掛けました。
4	園内の衛生管理や園児の食育指導に取られたか。	5 4 3 2 1 数字 (3.68)	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの消毒を日々、時間毎に意識してきました。 ・食育指導の面では、偏食などの個人差が大きく、指導が少し難しい部分がありました。 ・毎日の遊具の消毒、ドアや窓、水道の消毒など、感染症対策を心がけた。 ・パーテーションを使用し、新しい生活様式におけるルールやマナー（黙食）の実践を行った。 ・新型コロナウイルス感染防止対策としての取り組みを言葉、表示等で意識させ、実践していった。 ・園児自身、感染防止対策を意識して取り組む姿が見られた。 ・食事の際、アクリル板（シールド）を使用する事にも慣れ、配膳等もスムーズになった。 ・初めて『給食』だが、『食べられる物を自分で食べる。』を目標として取り組んだ。 ・最初は、ほんの一口ほろしか食べられなかった園児も、今では、半分は食べられる様になり、完食する園児もいる。

			<ul style="list-style-type: none"> ・3学期より、常時マスク着用をするようにしたが、嫌がる事なく着用出来ている。汚れた場合の取り替えもスムーズになった。 ・例年以上に、園児への手洗い・うがい・クローラ水の徹底に努めた。 ・園外に出た際も、遊具消毒を行い、感染症予防に取り組んだ。 ・昼食後に、ゴミ拾いの時間を設ける事で、職員だけではなく、園児が自らの衛生管理を意識している姿があった。 ・今更には、園児が食事の約束事があったが、約束事の大切さを繰り返し伝えてきた。 ・園長先生が用意して下さったシールドやクローラ水、ジアイーノ等を活用して頂き、食事時の感染症対策を、他の園よりも徹底した中で、行えたいと思います。『黙食』もの意識させ、以前の食事の仕方ではなく、新しい生活様式での食事のマナーを指導する事を心掛けました。また、偏食や少食の児の様子を保護者へお伝えし、園ではどの様に声を掛けていくか、ご家庭ではどうされているかを共有し、児に合った一番の良い指導法を模索し、個別に指導が必要な児の食育指導の1年を通し、成果が少しずつ見られました。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、クローラ水での消毒の徹底、食事の際にシールドを設置する等、衛生面を徹底できた。 ・園バス車内、クローラ水での消毒、洗車により、衛生管理を徹底しました。 ・コロナウイルス対策でのバス内の教育を行った。 ・今まで以上に給食を取り扱う際はこまめな消毒を心がけました。
5	安全・安心の園内をめざし、環境整備が出来ていたか。	5 4 3 2 1 数字 (3.80)	<ul style="list-style-type: none"> ・特に消毒の部分では、全教職員が遊具・玩具・手指の消毒検温等の意識を高め、細かな『消毒』を心掛けた。 ・お友だちが日常生活を取り戻せる様努める事が出来ました。 ・月に1度の安全点検を行い、園内・園外ともに異常がないかを定期的に確認・報告を行った。 ・外の水道の流れが悪くなっていた時には、運転手さんをお願いせず、自分で掃除をした。自分で出来る事は行う様に心掛けた。 ・児が園庭で自由遊びをしている際も、遊具の緩みがないか、等、意識した。 ・危険箇所を見つけた時は、報告を怠らないよう心掛けた。 ・園内事故防止について、園児が怪我をしない様に、物の配置や周りの環境に気を付けた。

7	<p>緊急時の災害（火災・地震・不審者侵入）を想定した訓練や日頃の対策に努め、緊急災害に十分備えられていたか。</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>数字（ 3.72 ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間の避難訓練や日頃から防災頭巾を被る取り組みを積み重ね、いつ起こるか分からない災害に対して意識が持てる様になり、今年度は、年長児の『サバイバル体験』の取り組みを通して、大きな災害時に「出来る事」を児と教職員と色々考え、取り組む事で大きな成長が感じられた。 ・ 日頃の避難訓練や、避難経路の確認を行った。 ・ 年間行事に無い日にも避難訓練を行い、いつ災害が発生しても慌てずに対応できるようにした。 ・ 1号在園児にプラスして2号・臨時預かり（星組）やほしのキッズ（児童クラブ）のみの時間も避難訓練を行った。 ・ 火災、地震を想定した訓練は、定期的に行い、更に、学年、クラスで、突発的に行った。 ・ 朝の時間帯や、帰り際など、シチュエーションを変えて、今後実践していきたい。 ・ 声掛けを聞いて、行動出来るようになってきている。 ・ 防災頭巾を被る事も、『自分で』の姿が見られる。 ・ 不審者侵入対策に関しては、特に訓練等は行っていないが、合い言葉の確認をし、日頃から、意識している。 ・ 園内、園外の際も、常に“今災害が起きたらどのように避難するか”、“不審者がいたらどうやって園児を守るか”意識した。 ・ 年間の避難訓練を行う中で、おともだち自信の意識が高まった。又、同様に教師の意識も高まり、避難経路の確認や、避難指導の仕方等、意識しながら取り組めた。 ・ 年少組は、1学期は自分で防災頭巾を被れなかった児が多く、個別で取り組みをしたり、ご家庭にお伝えしたりし、3学期には、皆が自分で素早く被る事が出来るようになり、3学期は、学年での避難訓練を行いました。全体で行う事で教職員の意識が高まり共通理解出来るので、3学期も全体で行えたら良かったのではないかと感じていました。 ・ 実際に今年度は1～2回程、自由遊びの際に地震が発生した。園児は慌てず、教員の指示に従い、行動が出来ていた為、訓練の成果が出た様に感じた。 ・ 門番や周辺道路での警備、避難訓練での初期消火の訓練もしました。 ・ 訓練の際に出た反省を次の訓練に生かしスムーズに行えるようになったと思います。
8	<p>支援を要する園児への適切な支援・協力の</p>	<p>5 4 3 2 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳半検診で何でも無いと言われてしまう児が多く、園での困り感を繰り返し伝え、出来る事、苦手な事を理解して

がなされていたか。

数字 (3.53)

- ・頂き、少しでも難しかったが、配慮をす
- ・環境設定や、表示を掲して目での情報が入る様にした。
- ・支援に繋げる事が出来ました。
- ・個別での声掛けや1:1対応を行
- ・配慮するタイミングや声掛けが難しい場面もあ
- ・担任だけでなく、担任、副担任と共に、情報を共有し、指
- ・指導してきただけでなく、主任、年少・満3歳児ク
- ・児の状況を、担当だけではなく、主任、年少・満3歳児ク
- ・ラスの担任、副担任と共有することが出来、無理なく過
- ・す事が出来た。
- ・担任だけではなく、副担任の先生を含め、様々な先生にご
- ・指導頂きながら、おともだちと関わる事が出来た。一人ひ
- ・とりの性格や課題を知り、支援を行っていた。
- ・クラスに複数の支援を要する園児がいる場合、対応が難し
- ・いと感じる場面があった。担任のみならず、教職員全体で
- ・同様の指導が出来る様に十分連携を図る必要があると感じ
- ・た。
- ・学年内で連絡ノートを活用し、個別の配慮が必要な児への
- ・共通理解や統一した指導が出来る様に、情報交換を密に行
- ・いしました。担任だけでなく、副担や他のクラスの担任も同
- ・じ様に接し、指導していく事で、児の成長が見られた様に
- ・思います。
- ・担任から、支援や協力が必要とされている園児についての
- ・声掛けや援助の仕方については事前に相談できた為、把握
- ・が出来ていた分、多少は適切な対応が出来ていたと感じる。
- ・声掛けをするように心掛けました。
- ・バス乗降に不慣れな園児に、声掛け等で支援しました。

9 各自が、校務分担を認識し、園運営の向上に努めたか。

5 4 3 2 1
数字 (3.23)

- ・それぞれの日常の保育や行事の担当に追われてしまい、校
- ・務分担については、指摘頂いてから動く事が多くなってしま
- ・いしました。
- ・中途採用の為、校務分担としては、担当はなかったが、気
- ・付いた事は声に出し、自分で出来る事は取り組む様にした。
- ・しかし、もっと動けたのではないかと反省している。
- ・自分の担当については、ご指導頂きながら取り組んだが、
- ・常に日頃から意識は出来ていなかった。
- ・行事の担当や、日々の保育を優先してしまい、全体として
- ・の校務分担担当箇所が疎かになってしまった。
- ・自分の分担は責任を持って努めようとしたが、担当の
- ・自時期が重なり、十分に進める事が出来なかった。
- ・意識出来ていない時期とそうでない時期があった様に思いま
- ・す。担当同士で声を掛け合い、行う職員が偏らない様にし
- ・ていきます。

			<ul style="list-style-type: none"> ・バス運行から園庭整備まで責任をもって努めました。 ・園内整備、園バス運行について向上に努めました。 ・事務作成の書類をより見やすくわかりやすいものに変える等、行いましめたが、途中のものも沢山あります。 ・来園者登録カードの情報をデータ化して、未就園児対象者を抽出しやすくしました。
10	<p>各自のスキルアップに向けて、積極的に研修・研鑽に努めたか。</p>	<p>5 4 3 2 1 数字 (3.23)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から2年継続の研修に参加させて頂き、自分の経験今年数、立場に見合った対応が園内で出来る様に、努力していき、たいと考えながら、参加継続しています。 ・推進委員や会やスキルアップ研修等、積極的に様々な研修に参加する事が出来た。 ・研修に参加させて頂いたり、研修に参加された先生方の資料を読ませてもらったりして、学んだ事を日々の取り組みに活かすよう心掛けた。 ・新聞や本なども読むようにしている。 ・研修への参加、様々な研修に参加されている教師から、研修報告を受け、た事で園児理解を深める事が出来、日常の保育に活かす事が出来た。 ・研修で学ばさせて頂いた事をそのままにせず、日々の活動で実践する事が出来た。又、自分だけに留まらず、その都度職員同士で共有し、活用する事が出来た。 ・参加させて頂ける研修は積極的に参加させて頂きました。参加内容によつては、参加出来ない物もありましたが、園内研修で共有する事が出来た事が良かったです。 ・教育者にとつて必要な知識等を、研修を通して身に付けていく事ができたと感じる。 ・この1年間で、自分の課題について沢山気付けたので、今後はその課題に関する研修にも参加していきたい。 ・芝生の成知識を得ようと心掛けました。 ・外部の交通安全講習会がコロナで開催が無かったため参加できませんでした。次回、機会があれば参加します。
11	<p>本園の教育活動を知らせるHPの更新や園だより、電話連絡等を積極的に行い、保護者との連携ができたか。</p>	<p>5 4 3 2 1 数字 (3.53)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの写真館の更新は毎日行い、園での様子を出来るだけ伝わる様に、又、便りは、見やすい物への移行、子ども具体的な様子が伝わる内容を意識しました。 ・お迎えの家庭が多く、様子はその時に伝える事が多かった。バスや星組の方は、必要な事だけ電話連絡をし、回数は多すぎないようにした。 ・クラスの様子を知らせるHPの写真館は毎日更新した。 ・満3歳児クラスなので、なるべく多くの写真を載せ、様子を伝えられるようにした。 ・保護者の方から、「HPの写真館、ありがとうございます。」

			<p>様子がよくわかります。」と、お声を頂いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「満3歳クラスなので、写真を多めにしています。」と補足をしている。 ・お知らせやお願いだけではなく、日常の様子や課題等を伝える様努めた。 ・感染症の影響で、保護者が園内に入る機会がなかった為、児の様子を伝えるよう心掛けた。 ・日々のブログや、クラス便り等、保護者の方に分かり易く伝える為には、どうしたらいいのか考えながら取り組む事が出来た。 ・チームを立ち上げ、各方面から園児募集について、色々な視点で新しい広報の仕方や対応の仕方を、教職員が意見を交換し合い、企画出来るまでにはと思い、まだ始めただけばかりの物もある中で、これからの成果が出る様に引き続き、色々な視点で考えて園の良さをアピール出来る様にしていきたいと思っております。 ・週に1度、預かりクラスの様子をブログを通して保護者に伝える事ができた。保護者の方からも時折「見ています！」と言ってもらい、励みになった。より園児の楽しんでる様子を、今後も伝えていきたい。
12	保護者との連携を図る為の連絡・交流・相談等に努めていたか。	5 4 3 2 1 数字 (3.30)	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の伝達や連絡は、適宜行う様にしましたが、電話連絡は、あまり多すぎない様にしました。又、クラスを越えて支援やフォローが必要なご家庭への声掛けも意識しました。 ・行事前には、事前に連絡をし、持ち物や必要なものを連絡する様にしました。 ・教育相談の際には、移行支援や現在の課題について状況を話し、共有・相談する事が出来た。 ・「教育相談」という場だけでなく、日々のお迎えや電話連絡で話しをするよう心掛けた。 ・手紙で質問等があった場合は、すぐに確認し返事をする事を心掛けた。 ・児の成長、個人の課題について保護者の方にお伝えするよう努めた。 ・保護者の思いに寄り添いながら、児の成長点や課題、日頃の様子等を伝える様に心掛けた。バスの保護者の方とは、直接会う機会が少ない為、電話でやり取りを行った。 ・バスの家庭へは、電話連絡を小まめにし、徒歩通園の家庭へは、お迎え児の様子をお伝えする事が出来ました。課題については、教育相談でより深くお話する事が出来、保護

			<p>者の方と児についてどの様に指導したり、家庭で関わっていったら良いか、共通理解出来た家庭は、児が更に成長出来た事を感じています。園側の一方通行にならないように、まずは保護者の方の思いを知る事を心掛け、各ご家庭がどのような様にお子様を育てたいかという気持ちに寄り添いながら、児の指導について一緒に考えていける関係を築いていけたらと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・降園の際に園での様子を伝え、相談等を行う事ができた。また担任の先生にも伝え、今度どの様にしていくべきか、考えていく事ができた。今後、より『報連相』を徹底していきたい。 ・保護者からの電話には思いやりをもった対応を心がけました。
13	園情報を地域の方に伝え、本園の広報や理解を得られたか。	<p>5 4 ③ 2 1 数字 (3.23)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代のニーズに合わせて、LINE 配信を始めた。担当同士で話し合いを重ね、幼稚園に興味を持てる様な配信を考えながら取り組んでいる。 ・アナログ以外に、LINE 導入した事で、普段、園を知る機会がなかった方にも本園の行っている取り組みを発信出来る様になります。こちらの思っている事ばかりを発信するのではなく、今の子育て世代の方々には、どのような情報が必要なのか、また、どのような子育て支援を必要としているのか等、リアルな声を聞き、調査していき、地域の方が必要としている子育て支援を指し示していけたらと思います。そうした取り組みの中で、星が丘幼稚園の良さを知って頂ける機会となればと思います。 ・LINE の運営を行い、園庭開放、未就園児親子教室、説明会等、周知が出来る様にした。 ・ポスティングを継続できなかった事が一番の反省。 ・LINE での発信を始められた事は、大きな事だと思う。LINE 担当の先生に負担がいついてしまっている事は申し訳ない。 ・LINE 担当の先生方を中心に、広めて頂けていると感じています。 ・チーム別に取り組む際、自分からは発信できていない。同じ担当者から相談を受け、アイデアを出したり、作成したりするといった動きになってしまっている。自分発信で動けるようにしていきたい。 ・今年度新たに始まった取り組み（満3歳児入園、未就園児教室、満2歳児の受け入れ開始）について、問い合わせも多く、地域の方々に関心を持って頂く事が出来た。

- | | | |
|--|--|---|
| | | <ul style="list-style-type: none">• LINEでのお知らせを行い、園での様子や行ってみたい！という気持ちになるよう工夫した。（園庭開放）保護者から、「LINE見ました。」「載せて頂きありがとうございます！」と、お話頂きました。• 園庭開放に来られたご家庭と話をする機会があり、その際にクラスの事等を伝えていく事ができた。• 特に出来ませんでした。• 電話での問い合わせには正しい情報を分かりやすく丁寧にお伝えしました。 |
|--|--|---|